

令和7年度 第3回愛知県食育推進会議 会議録

1 日時

令和8年3月24日（火）午後2時から午後2時35分まで

2 場所

愛知県庁本庁舎 6階 正庁

3 出席者

会長及び25名の委員

事務局として農林水産推進監始め37名

4 傍聴者

なし

5 議事の概要

(1) 開会

皆様お待たせいたしました。

ただいまから令和7年度第3回愛知県食育推進会議を開催させていただきます。

私、本日の司会進行役を務めさせていただきます、愛知県農業水産局農政部長の太田でございます。よろしくお願いいたします。

始めに、愛知県食育推進会議の会長であります、大村知事から挨拶を申し上げます。

(2) 知事挨拶

皆様こんにちは。愛知県知事の大村秀章です。

令和7年度第3回愛知県食育推進会議の開催に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

委員の皆様には年度末のお忙しい中にもかかわらず、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて今年度は2030年度を目標とする第5次計画策定のため、これからの愛知県の食育のあり方について検討を重ねてまいりました。

推進会議委員の皆様、また安達座長を始めとする計画検討会構成員の皆様には、この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、食べることは私たちの笑顔と元気につながっています。健康で豊かな地域社会を築いていくためには、忙しい日常であっても一人一人が「食」の大切さを忘れずに、学び、考え、望ましい食生活を選択できるように行動していくことが大変重要に

なります。

新しい計画では、「Think&Choice」をテーマとして掲げました。愛知の未来を担う子どもたちに、食育の大切さを伝えていくとともに、大人の食育にも改めて着目しながら、あらゆる世代で切れ目のない食育を展開してまいりたいと考えております。

本日は年末から1月にかけて実施をいたしましたパブリック・コメントの結果や、委員の皆様のご意見を反映した、最終案をお示しいたしますので、御検討いただきまして、新しい計画として取りまとめてまいりたいと考えております。

限られた時間ではありますが、皆様には忌憚のない御意見を賜り、実りのある会議となりますようお願いを申し上げます。

なお、いつもの「あいちの水」と今日は牛乳が置いてありますが、これは愛知県酪農協同組合から御提供いただいたということですね。春休みで学校給食がないので、できるだけ牛乳を飲んで農家を応援してくださいね、ということでございます。

今日が有意義な会議になりますように、何卒よろしくお願い申し上げ、冒頭の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

### **(3) 委員の出席等**

ありがとうございました。なお、知事は公務の都合により、ここで退席させていただきます。

それでは、お手元の愛知県食育推進会議委員名簿を御覧ください。

本日は、委員29名のうち25名の委員の方に御出席いただき、愛知県食育推進会議条例第4条第3項規定の「半数以上の委員の出席」を満たしておりますことを御報告申し上げます。

次に、本日の会議資料につきましては、次第の下に配付資料一覧を記載しております。

会議終了時間は午後3時を予定しておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、ここからは愛知県食育推進会議運営要綱第2条の規定により、会長代理であります松井農業水産局長に、議事の進行をお願いいたします。

### **議長**

それでは、お手元の会議次第に従いまして、議事を進行させていただきます。

### **(4) 議事録署名人**

始めに、本日の会議録の署名人についてですが、中日新聞社の坂口委員と日本労働組合総連合会愛知県連合会の清水委員をお願いをしたいと存じますので、よろしくお願いいた

します。

それでは、議題に入ります。

#### (5) 議題

ア 議題(1)「あいち食育いきいきプラン 2030 (案) について」

イ 議題(2)「あいち食育いきいきプラン 2030 概要版 (案) について」

議題(1)「あいち食育いきいきプラン 2030 (案) について」、議題(2)「あいち食育いきいきプラン 2030 概要版 (案) について」、事務局からまとめて説明してください。

#### 【事務局】

資料1、資料2、参考資料により説明。

#### 議長

ただいま、「あいち食育いきいきプラン 2030(案)について」、「あいち食育いきいきプラン 2030 概要版 (案) について」、事務局から説明がございました。

この計画案の作成につきましては、計画検討会において3回にわたり御検討いただいております。

検討会で座長を務めていただいております、安達委員から、3回の検討会を通して何か御紹介していただくことがございましたら、お願いできればと思います。

よろしく申し上げます。

#### 【安達委員】

検討会の座長を務めております、名古屋学芸大学の安達でございます。

前回は、「あいち食育いきいきプラン 2030」の検討の経緯や、第5次食育推進基本計画との関連について、御説明をいたしました。本日は改めて、本プランが、重視するポイントとテーマに込めた思いを述べさせていただきたいと思います。

まず、近年の社会経済状況を踏まえますと、「食育どころではない」と感じる方が多いのも事実です。生活が不安定になれば健康的な食事や食に関する学びはどうしても後回しになりがちです。

しかし、一方で、社会課題の解決に「食」が大きく貢献し得ることも見逃せません。例えば、地球規模の課題である気候変動では、人間生活による温室効果ガス排出量の約3分の1が食に関連していると言われております。また、医療費の増加といった国内の課題も、何を、どれだけ、どのように食べるかが、生活習慣病のリスクや体調、メンタル、更に寿命にまで影響することを踏まえると、食と深く結びついていると考えられます。

このように、食について学んだり考えたりすることは、「余裕のある人だけが取り組むもの」ではなく、むしろ社会全体の課題を解決するための重要な鍵でもあります。

そこで本プランでは、「Think&Choice」をテーマに掲げ、県民一人一人が食について考え、いつ、どこで、誰と、何を、どれだけ、どのように食べるかを主体的に選択していただきたいと考えています。

プランの中で繰り返し登場する、「望ましい食生活」とは決まった正解の食生活を押し付けるものではありません。一人一人が食の大切さへの気づきを積み重ねることで、自分らしい食生活を築いていくことを意味しています。

最後になりますが、今後5年間、食育を推進していくに当たり、全ての人が健康で活力ある社会の実現を目指し、多様な人や組織が連携して取り組んでいくことを期待しております。

#### 議長

安達委員ありがとうございました。

計画や概要版の案でございますが、本日の会議に先立ちまして実施させていただきました意見照会では、内容に御賛同いただいております。改めてこの場で御意見等がある方、この機会にいかがでございますでしょうか。よろしいですか。

改めて決をとらせていただきたいと思います。資料1の計画案、資料2の概要版について、御承認いただいたものとしてよろしいでしょうか。

#### 委員

異議なし

#### 議長

はい。「異議なし」という言葉をいただきました。ありがとうございました。御承認をいただきましたので、今後は公表に向けまして準備を進めさせていただきます。また、計画本冊と概要版につきまして、今後軽微な変更につきましては、事務局に一任していただくようお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

ここで計画でございますが、これは策定後の推進が大切になると考えております。

今回の計画では、重視するポイントの1つとして「大人の食育」を新しく位置づけることとなりました。

この「大人の食育」を推進していくに当たって、日常生活や社会との関わりという視点で、メディアの立場から、中日新聞社の坂口委員、コメントいただければありがたいですが、よろしく申し上げます。

## 【坂口委員】

中日新聞の坂口です。

コメントというよりも自分の経験ですけれど、関心のない方に情報を届けるっていうのは本当に難しくて。私も30年記者やっておりますが、ずっとこれは悩んでる課題です。

20年前も生活面で食育の短めの連載を2回ほどやりました。当時は西尾の学校で食育科もできて、食育がクローズアップされてた時期。「食育って難しいことじゃないよ」、関心ない人にも「これだけは知って欲しいな」と思って。取り上げたのは、例えば山梨でやってた「手ばかり」。聞いたことがある方もいらっしゃると思うんですけど、野菜が1日350グラムって言われてもわかんないですよ、イメージが。自分の手に乗せたのがどれぐらいっていうので見当を付ける方法です。コンビニでも、ゲーム感覚で、「主菜副菜とかいうふうにバランスが取れたものを組み合わせられるよ」って、これだけは知って欲しいっていう話題に絞って連載をやったんですが、結局読んでいただけたのは、食に関心が高い方でした。なかなか関心が低い方には届かないっていうのが実感です。

2024年に東京大学が、日本人はどのメディアから栄養や食事について情報を得てるかっていうプレスリリースを出してます。これによると、複数回答なんですけれども、信頼が高いと思って情報を得るメディアとして、3割がテレビを挙げています。Web検索と特定のウェブサイト、それが合わせて大体4割。ニュースアプリとか動画サイト、SNSが大体1割ずつあります。新聞は15%です。こういういろんなメディアから皆さん、情報は得てるんですが、分析を読んでいくと、やっぱりこれもリテラシーが高い方の回答なんです。なので食に関心の低い方にどう伝えていくのかっていうのは、ずっとつきまどってくる課題です。ただ自分の今、例えば会社で日常生活を送る上で、ヒントはないわけではないと思います。

例えば弊社の社員食堂ですと、テーブルにA5版ぐらいの卓上メモが置いてありまして、毎月「食」に関する話題があるんですね。今ですと花粉症で、紙面下欄に免疫力を高める「食」がイラストで書いてある。これは、例えばポスターが貼ってあっても、歩いて眺めてしまうので気持ちには残らないんですけど、食卓に、視線をフォーカスするところがあると受け止め方が違います。これも一つのやり方かなあとと思います。会社の健康診断で、栄養士の話が食の関心のありなしに関係なくあるんですけど、「ここで気をつけて欲しいのは3つの『ア』です」って言われたのは、非常に参考になりました。この「ア」っていうのが、甘いもの、揚げ物とアルコール。食べるなっていうのではなくって、食べるんだったら例えば、揚げ物だったら昼にしようねと注意点をあげる。その場で興味を持たせて少し説明して、そのあとにもっと詳しく知りたいんだったらこの二次元コードでアクセスしてください、っていう伝え方をされました。その場では長く説明せず、本当に伝えたいことだけをピンポイントで伝え、こういうところにアクセスしたら正しい情報を得られると教える。こういうやり方は、報道や食育に限らず、きっかけがあるときに今は届くんじゃないかなと思いました。

## 議長

ありがとうございました。

今の坂口委員の御発言に関して、関連で御意見等ございますでしょうか。

届けるというのが大切ですので、これから冊子を作ったり、いろんな Web で出して  
いったりする時にもですね、どうやったら届くかということを考えながら事務局もや  
っていきたいと思います。

続きまして、働く世代の実情を踏まえまして、「大人の食育」の重要性や職場におけ  
る視点について、日本労働組合総連合会愛知県連合会の清水委員から御発言いただ  
ければと思います。お願いします。

### 【清水委員】

連合愛知の清水です。

本日は「大人の食育」についての発言の機会をいただき、ありがとうございます。

まず、働く世代の実情として、長時間労働や不規則な勤務、物価上昇の影響によ  
り、日々の食事に十分な時間や意識を向けることが難しくなっています。

手軽さや価格を優先せざるをえず、栄養バランスが後回しになるケースも少なくあ  
りません。

しかし、「食」は健康の基盤であり、働く人の活力や生産性、更には、メンタル面  
にも大きく影響します。だからこそ、子どもだけではなく、働く世代を対象とした大人  
の食育の推進が重要だと考えます。

私たちとしましても組合員向けに、農場体験の取組を実施しております。実際に土  
に触れ、生産の現場を知ることで、食べ物大切さや「食」の背景の理解が深まり、  
日々の食生活を見直すきっかけに繋がっています。

このような体験型の取組は知識の習得だけではなく、行動の変容にも繋がる有効な  
手段だと感じています。そのうえで我々としては、こうした取り組みを更に広げてい  
くために、関係団体との連携を強化し、働く世代が参加しやすい環境づくりを進めて  
いくことが重要だと考えております。

また、職場における食育の推進や、健康的な食生活を支える環境整備にも主体的  
に取り組んでいく必要があります。働く人が健康で安心して働き続けられる社会の実現  
に向け、「大人の食育」を社会全体で支えていく必要があると考えております。

## 議長

ありがとうございました。

働く人の健康というのは、どうしても私ども大人になると忘れてしまうようなこと  
だと思いますが、関連で御発言等ある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは関連でなくとも、この計画に関して、他の委員の方、推進に当たっての御意見等ございましたらいただきたいと思いますが、よろしければ、挙手いただければ助かりますが。

よろしいですか。また後程何かございましたらその場でも結構ですので御意見いただければと思います。

#### ウ 議題（３）のその他について

続きまして、議題の（３）その他について事務局からお願いいたします。

##### 【事務局】

今後のスケジュール等について説明。

欠席の愛知県酪農農業協同組合からのお知らせを紹介。

机前にお配りした牛乳とチラシを見てください。冒頭で知事が説明しましたけれど、本日、都合がつかず会議を御欠席されております愛知県酪農農業協同組合から、言付けを承っております。

「現在、学校は春休み中で、学校給食がありません。その影響で毎年のことですが、全国的に牛乳の消費が落ち込み、在庫が増えてしまいます。皆さん是非、牛乳や乳製品をいつもより、もっと飲んでいただきますようお願いいたします。そして愛知の酪農を応援してください。」との周知の依頼がございました。お配りした牛乳は、常温での保存が可能なものです。是非、お持ち帰りいただきまして、御賞味いただければと思います。

##### 議長

ありがとうございました。

愛知県でも酪農農家はたくさんございますので、是非とも、牛乳を飲んでいただければと思います。よろしく申し上げます。

それでは全体を通しまして、何か御意見、御質問等がございましたら、この機会にお願いしたいと思います。

##### 【竹生委員】

愛知県農業経営士協会の竹生と申します。

この会で何度かお話をさせてもらってるんですけども、食育に対しては、農家が一步出ななきゃいけないっていう思いから、私の住んでいる豊川市では子どもたちに対する食育を農家を中心になってやってこうっていうことで、２年半ほど取り組んでいるところです。

資料には連携が大事だっていうことで、いろんなところ、いろんな団体さんと連携して、と書かれているんですけども、連携すればするほど壁があったりして、なかなか進めていくのに障害があるんだなっていうのを感じています。

つい最近も「こういったやり方どうなんだ。」っていうことで、ちょっとストップがかかり、難しさを実感してます。

皆さんいろんな団体から来られてますので、末端でなかなか取り組みがうまくいってない事例があるんじゃないかなという気がします。そういったところをうまく調整していただけると、今後ともうまく進んでいくんじゃないかなっていう、そんな気がしています。

## 議長

竹生委員ありがとうございました。

連携の壁っていうのは、例えば、どのようなことがございますでしょうか。

### 【竹生委員】

坂口さんもおっしゃられたんですけども、積極的に取り組もうという方とそうでない方の認識の差がかなりあります。あと子供たちに対してやろうとすると、「何かあったときにどうするんだ。」っていうようなことを言われ、なかなか行政の方としては、1歩も2歩も引かざるを得ないっていう状況が起きてしまって。農家が前に出ようかってことでやってるんですけども、考え方が一致せずに、「そこまでしなくてもいいだろう。」っていう方もみえて、どうしても思いが伝わりきれない部分があるな、っていうのは実感します。

## 議長

ありがとうございました。

関連でお話ございましたら、もしくは他のことでも結構でございますがいかがでしょうか。

連携の壁という点については、私自身、県職員として長く仕事をしてきた中で、様々な立場や考え方があって、取組が円滑に進まないこともあり、苦労した経験もございます。

食育は特に価値観が多様な分野だと思いますので、この計画を共通の方向性として活用しながら、取組を進めてまいりたいと思います。

他、何かございますでしょうか。

また何か御意見等ございましたら事務の方に直接御連絡いただければ、参考とさせていただきますので、よろしく願いいたします。



それでは、以上で予定をしておりました議事を終了させていただきます。

委員の皆様方には、議事の進行に御協力をいただき、誠にありがとうございました。

また、3回にわたる推進会議に御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

とりわけ安達座長始め、検討会構成員の皆様には、更に多くの御助言をいただきました。ありがとうございました。

来年度からは、県としても新しい計画を進めてまいりますので、委員の皆様にもそれぞれの立場で食育の更なる推進をよろしくお願い申し上げまして、進行を司会に戻したいと思っております。ありがとうございました。

#### (6) 閉会

以上をもちまして、令和7年度第3回愛知県食育推進会議を閉会させていただきます。

委員の皆様方にはお忙しい中、御出席をいただきまして、ありがとうございました。

なお、お帰りの際は交通安全に十分御留意していただきますよう、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

会議録署名者

---

---